

2022～2024 年度 第 4 回 神奈川県産業教育審議会 審議概要
令和 6 年 7 月 17 日（水） 10:00～12:00 神奈川県立神奈川工業高等学校 会議室

【出席者】◎角田 浩子、○杉山 久仁子、関口 明彦、村木 薫、佐藤 治、牧 紀子、
高橋 麻実、吉田 圭、掛札 肇、岩崎 秀太、片受 健一

1 事務連絡（事務局）

- ◇資料確認
- ◇定数確認
- ◇会議の公開について

2 神奈川県教育委員会あいさつ（増田指導部長）

- ・この場をお借りして、何点かご報告と情報提供をさせていただく。
- ・まず、前回の審議会でも、御紹介させていただいた、令和 6 年度高等学校 DX 加速化推進事業（DXハイスクール）についてです。情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICT を活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する文部科学省の事業で、令和 6 年 1 月 31 日～令和 6 年 2 月 29 日までに交付申請し、国公立市立を含め 1, 010 校が採択された。本県の県立高校からは 20 校が指定を受け、内 9 校が産業系の専門高校になる。
- ・もう一つは、神奈川県内の専門高校生の発表の場である「神奈川県産業教育フェア」について、昨年度から「横浜 STEAM EXPO」の中に入るという新たな形として、専門高校のイベントを集約して実施している。
- ・今年度も「横浜 STEAM EXPO 2024」の一部として 11 月 9 日（土）～11 月 10 日（日）の 2 日間で開催する予定である。会場は本日の会場にもなっております、神奈川県立神奈川工業高等学校を予定している。
- ・この「横浜 STEAM EXPO 2024」は、昨年と同様に生徒の自主的な運営による産業教育の魅力を発信することを目的として、生徒主導による進行管理、各地域の中学校や企業と継続的な交流を図れる運営体制、年間イベントの集約と運営移管による教職員の負担軽減を考えている。
- ・現在、生徒中心にオンライン会議を行い、進めている。11 月の開催に向けて、情報発信もしていくので、よろしく願います。

3 会長あいさつ（角田会長）

- ・第 3 回審議会では、これからの審議を見据えて、各委員から御報告をいただき、幅広い見地から、貴重な御意見をいただき、それらを踏まえて、「中間まとめ」を作成した。
- ・そして、3 月 28 日には、教育長へ「中間まとめ」を手交し、概要を説明させていただくと共に、これからの専門学科について、懇談を行った。
- ・本日は第 4 回目ということで、最終報告について具体的な審議をいただくことになっている。

- ・この最終報告は、各専門学科の先生方を中心に構成されている専門部会で審議された内容となっており、各学科の方向性について具体的に示されている。
- ・本日の審議は、まず、最初に今後の審議スケジュールについて事務局から提案があり、続いて、「最終報告（案）」について、事務局から説明後、審議をお願いしたい。
- ・最終報告（案）は、県立高校改革における今後の専門高校の方向性を示す重要なものになっているので、神奈川の専門高校がさらに活性化されるよう、審議を進めていきたいと思う。

4 新委員あいさつ

◇掛札委員による自己紹介。

5 第4回専門部会の報告について（岩崎委員）

- ・令和6年5月30日（木）に第5回専門部会が開催され、最終報告（案）の作成をする中で、各専門学科の専門員が作成した「各学科のあり方」について、検討した。
- ・各委員からは、「大学や企業、地域社会と連携したコンソーシアムを形成し、技術の向上や人材育成を図る必要がある。」「コンソーシアムを活用した課題解決型学習を実施し Society 5.0 への対応を意識した内容の充実を図る。」「時代にあった学科名の改編を検討する。」等様々な意見があり、「最終報告（案）」に反映させていただいている。
- ・「最終方向（案）」については、後ほど事務局から説明させていただく。

6 事務局から「最終報告（案）」報告について

- ・中間まとめを踏襲し、Ⅰ「本県の専門学科における現状と課題」の1、2については、それぞれの現状と課題について、各学科の内容を記している。
- ・Ⅱ「本県の専門学科のあり方（方向性）」については1で全体の方向性、2に各専門学科のあり方を記している。
- ・Ⅰ「本県の専門学科における現状と課題」を踏まえ、Ⅱ「本県の専門学科のあり方（方向性）」の1「全体の方向性」では、各学科の特色を踏まえて、企業等との連携を強化するために、学科の目的に沿ったコンソーシアムを構築すること。また、企業との協力を得ながら、地域課題等についての探究的な学びに取り組むことで、将来的に地域や社会の持続的な発展を担う人材を育成するという方向性を専門部会で確認をさせていただいている。
- ・Ⅱ「本県の専門学科のあり方（方向性）」の2「各専門学科のあり方」について、専門部会での検討では、目的別コンソーシアム等を活用しながら進めることとしており、各学科、「中間まとめ」から、さらに踏み込んだ内容を記載している。
- ・具体的には、専門高校の各学科においてこういった取り組みができるのか？デジタル人材の育成を加速化するための新たな方策についてと言った点について、最終報告に向けては、審議していただければと思う。
- ・また、専門部会にどういう視点での議論を求めていくかについても、委員の皆様の御意見を伺いたいと思う。

7 審議（主な意見）

- 今までの審議の経緯が分かるように読み手を意識した前文に修正したほうが良い。
- 専門高校の各産業教育の分野に必要なデジタル化とは何か分かるように、デジタル社会の実現に向けた人材育成の具体例を載せることで、読み手がわかりやすくなる。
- 専門部会の中で議論していく中で、どの学科でも目的別学習活動コンソーシアムが必要であるから、全学科で取り組んではどうかというまとめになっている。
- そこは、できてない学校もあるので、これからどう作っていくかというところを、もう少し事例など盛り込んでいければ、学科による濃淡を解決できるのではないかと思う。
- 最終まとめに向けて、もう少し各学科考えてみたいと感じた。あと、具体例であるが、商業、水産それから、看護、福祉などの業種で変わるので、そうするとまた、デジタル人材の視点というものも変わってくる。それぞれ専門学科の違いというものをもう少し出した方が逆にわかりやすい。言葉として共通性を持たせようとしたので、逆にわかりにくくなってしまったのかもしれないので、そこは、もう少し文章量をふやす形で、次の専門部会で検討していきたい。
- ここまでで削ぎ落とした部分があったのなら、もう少し入れていただいて、各学科の特徴が分かるように、最終報告案に向けて、加筆できたらと思う。
- ある程度ダイジェストでも結構なので、過去どんな議論がされてきたのかということを示した方が個人的にいいのではないかと思う。これだけ見たときに、なぜ、デジタルの話が急に出てきたのかどうかも、少しわからない部分がある。
- 1 ページで結構であるので、過去どういう議論があり、長年されてきた沿革みたいなものがあるといい。脈々ともう何十年も前から続いていて、その都度時代の変容によって、議題が変わってきたと思うので。そういうものを少し添えると、なぜ、今これが必要なのかということも見えてくるのかなと思う。単一的にこの議論だけを見ていると、唐突な感じがしてしまうので、個人的には、過去の変容や、もう少し、やはり時代の流れというものも含めて入れられたらどうかと思う。
- 多分、本来あるべき姿というものが明示されていない。その本来あるべき姿に向かうときに、デジタル社会の人材としてどういう人材が必要なのか、地域の産業を担う人材としてどういう人が必要なのかという話になる。本来あるべき姿というものがなく、課題（少子高齢化）を言っているので、何か理想論ではなくて現実として、産業教育、専門高校において、「こういう人たちを育成していきたい。」、「こういう人たちが、社会に行って欲しい。」という本来あるべき姿が伝わりにくい。
- 各専門学科がそこに向かって人材育成するというのがないと、そこから散漫としているような感覚があるので、13 ページの段階で、課題があって、本来こういうものを目指してこれからこういうやり方をしますという、まとめというところが一つあった方がいいのではないかと個人的には思った。
- 各学科によって濃度がかかなり違うので、これを別に文章上で合わせるというようなことではないのが、また見直していただくことをぜひお願いしたい。あと、デジタル社会に特化した文章がないところがあったと思う。それも併せて見直していただきたいと思う。今回、議論したデジタル人材というの、とにかく全部の専門学科に入り込んでいるので、道具として

使うべきだろうというふうな議論はあった。

- そういった人材を育成、例えば工業などもデジタル化されているが、そういう人材育成をするという学科を作っても、ちょっと厳しいのではないかと思う。時代はどんどん変化していくので、あくまで道具として使えるようにしていくべきではないかという話はあった。
- 特に看護科は今後普通科になるが、病院実習も機械を使っていくので、扱う人間と考えると、専門的な知識を専門高校で教えるべきじゃないかという議論が、専門部会ではあったので、その部分は、こういう人材ということは書かれていないところはあった。そういった議論もなされたところがわかるといい。そこもちょっと工夫をしていただいて、すごく膨大になってしまうかもしれないが、深い議論と、作成を是非ともよろしく願います。

7 事務連絡

◇今後のスケジュール